平成30年度大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院との合同登山

新　井　健　二（クライミングメイトクラブ）

平成22年10月に協約を締結し、翌平成23年から始まった大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪院との交流事業は今回で８回目を迎えた。今回の招聘は平成30年９月３日～８日の６日間に行われ、９月５日～７日にかけての３日間に、立山、剱岳にて合同登山が実施された。

合同登山に先立つ９月４日、猛烈な勢力に発達した台風21号が四国～近畿～北陸地方を縦断した。特に近畿地方では、高潮により関西空港が冠水・閉鎖、また風速50m/ｓに及ぶ強風により自動車の横転、高層ビルや住家の損壊など大きな被害がもたらされた。５日からの合同登山への影響が心配されたが、５日の朝の時点では台風21号は東北～北海道の日本海沖まで進んでおり、立山、剱岳の山域では登山可能な状態にまで気象状態が回復していた。

９月５日の朝、登山研修所を出発し室堂へ入った。雨は止んでいたが雲が残り、風が強く肌寒いコンディションであった。まず富山県警察山岳警備隊室堂派出所の訪問を行った。派出所における業務と人員配置について、またこの山域における山岳遭難事案の状況などについて韓国側から質問が出され、この山域における登山事故防止と安全登山のための実務について確認された。訪問後、室堂から登山を開始し、一の越を経て雄山に至る。雄山神社峰本社の授与所にてご祈祷をいただき、神殿にて参拝をおこなった。韓国の皆さんにとって、この地で古くから続く立山信仰に触れる貴重な機会となった。このころには雲の切れ間から青空が望めるようになり、風は非常に強いながらも雄大な景色を味わいながら大汝山～別山へと縦走。別山からは剱岳の雄姿が望まれ、明日への期待が高まった。別山乗越を経て剱沢の夏山前進基地に到着、行動を終了した。この日の夕食は生肉を運び上げての焼肉であった。大変豪華でおいしい食事をいただきながら、韓国のみなさんとの交流の時間になった。言葉の壁があり、流れるような会話というわけにはいかなかったが、スマートフォンの翻訳アプリを介して一つずつ気持ちを伝え合ったりして、相互理解を図った。

９月６日、風は相変わらず強かったが青空の、まずまずの天候の朝を迎えた、台風はすでに遠ざかっ



９月５日　立山から別山に向けての縦走風景



９月６日　剱岳山頂を目指す

ていたが、風の影響はなかなか収まらぬ様子であった。全員で朝食を摂り、６時10分に前進基地を出発した。ルートは別山尾根を辿り、順調に９時15分に剱岳山頂に全員登頂した。非常にスムーズな登高であった。剱岳の山頂から素晴らしい風景を望むことができ、韓国のみなさんも喜んでいる様子であった。前進基地に帰着後、休憩をはさんで夕刻に富山県警察山岳警備隊剱沢派出所の訪問を行った。施設の様子を拝見させていただいたり、業務の様子を伺ったりした。



登頂後の記念撮影

９月７日、この日は朝から霧雨で、あいにくの天候のなか下山を行った。台風が過ぎて数日経つというのに風が強く、三田平付近では強風でよろけそうになるほどの場面もあった。剱御前小屋ではお茶で温まったりしながら室堂に到着し、無事に合同登山を終えた。振り返ってみれば入山日、登頂日と晴天に恵まれたのであるから、天候的には良い巡り合わせであった。

今回来日した韓国のみなさんは、朴校長をはじめみな紳士的で友好的であり、活発な意見交換や交流を行うことができた。これも８年間にわたって交流事業を継続してきた賜物と思う。これからも交流事業を通して相互理解を深め、両国の健全な登山の発展を図っていくことが望まれる。